

# 感染対策室 ニュース

【発行】2024年4月30日 大阪南医療センター

## 大型連休を楽しむための感染対策

みなさん、GWはどのようにお過ごしでしょうか？

楽しい思い出をたくさん作るための準備の中に、感染予防も加味することをお勧めします。海外ではデング熱（蚊が媒介）や麻疹（はしか）、国内でもマダニ、RSウイルス、感染性胃腸炎などにご注意ください。海外旅行前にはFORTH（厚生労働省検疫所）が出している「海外へ渡航される皆様へ」等を確認し準備を行ってください [https://www.forth.go.jp/news/20220722\\_00001.html](https://www.forth.go.jp/news/20220722_00001.html)

	症状・感染経路	予防と対策
<b>デング熱</b>  ヒトスジシマカ (国立感染症研究所)	潜伏期間：3～7日 症状：急激な発熱、発疹、頭痛、関節痛（発疹は解熱時） 感染経路：ヒトスジシマカ	予防：蚊に刺されないようにする 対策：長袖着用、虫よけ、水たまりを作らない（蚊の発生を防ぐ） ＊海外では流行地域あり
<b>麻疹（はしか）</b> 	潜伏期間：10～12日 症状：発熱、咳、咽頭痛等の前駆症状後解熱し、再度高熱、発疹（顔、頸部等） 感染経路：空気感染（抗体のない人はN95）	予防と対策：ワクチン接種（2回） 飛沫核を吸い込む、飛沫の接触などで感染するので、マスクや手指衛生だけでは防ぐことができない。 ワクチンの接種による免疫の獲得が推奨される。
<b>重症熱性血小板減少症候群（SFTS）</b> 	潜伏期間：6日～14日 症状：発熱、消化器症状（食欲低下、嘔気等）リンパ節腫脹など 感染経路：マダニなどに咬まれる 治療：急激に重症化し、致死率30% ＊厚生労働省「マダニ対策今できること」PDF参照 <a href="https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000164561.pdf">https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000164561.pdf</a>	予防と対策：マダニ（類）に咬まれないようにする 野山、庭、田畑等野外での活動では、長袖長ズボンを着用し、裾や袖は絞るようにし虫の侵入を防ぐ。 虫よけ剤を使用する。野外活動後の衣服は家の中に持ち込まず、シャワーや入浴を行い咬まれていないか確認しましょう。
<b>RSウイルス</b> 	潜伏期間：2～8日 症状：発熱、鼻汁、咳、くしゃみなど 感染経路：咳やくしゃみの飛沫（しぶき）を吸い込んだり、接触したりする	予防：基本的な感染対策（マスク手洗いうがい） ワクチン接種 対策：咳エチケット、子供が触れるおもちゃや、人が良く触れる手すりなどは清掃消毒を行う。
<b>感染性胃腸炎</b> 	症状：下痢、嘔吐、腹痛、発熱 ノロウイルス→潜伏期間1～2日、噴水様嘔吐 感染経路：食品からの食中毒、肉の生食等。症状が有る人の便や吐物  鶏のたたき カレーの作り置き バーベキュー（肉・魚介類）	予防と対策： ハンドソープ（石けん）と流水で手を洗う 食べ物の調理時の器具は熱湯消毒、食材は中心部までしっかり加熱。 この時期はBBQでの肉の加熱、キャンプや家庭でのカレーなどの煮込み料理に注意しましょう

### 【海外渡航をご予定のみなさんへ】

海外渡航前には、渡航先の感染流行状況を確認し予防のワクチン接種をしましょう。海外渡航後は、感染症を疑うような症状がある場合には、速やかに受診し医療機関受診の時にはその旨主治医お伝え下さい。

帰国後7～14日程度は感染症の発症がないか注意をして下さい

**「麻疹（はしか）」は世界で流行している感染症です。**

海外に行く方で、麻疹（はしか）にかかったことが確認されていない場合

海外に行く前に

- 麻疹の予防接種歴を母子手帳などで確認しましょう
- 2回接種していない方は、予防接種を検討してください

麻疹に感染した場合

帰国後2週間程度は健康状態（特に、高い熱や全身の発しん、せき、鼻水、目の充血などの症状）に注意しましょう

**「麻疹（はしか）」は世界で流行している感染症です。**

海外に行った方で、麻疹（はしか）にかかったことが確認されていない場合

帰国した後に

帰国後2週間程度は健康状態（特に、高い熱や全身の発しん、せき、鼻水、目の充血などの症状）に注意しましょう


